平成25年	F度事務事業評	価シート	該当事業(評価 一般事務	i対象外事業は基本 公共建設事業	□情報のみ記載) □ 計評価対象外事業
事務	8事業名	(後期高齢)徴		ロスス定成する	山岡川水川子木
	<u>算</u> 科目		· 項 1目		
総合計画	での位置付け		保健・医療の充実~	~ やすらぎとぬくもり	Jのまちづくり~
	京課情報	担当課:	保険年金課	電話番号(内線):	524
	者情報	所属長:	宮岡 隆	担当責任者:福	岡 富美子
	美の性格 おんしゅん	法定事務			
	施期間			始年度】設定なし	
事業	美の対象 アンディ			及び65歳以上の一定	注程度の障害がある方
根拠法令等	伊予市後期高齢者医療	寮に関する条例及	び規則		
事業の目的	後期高齢者医療の保 	倹料を徴収し、後 其	朗高齢者医療の健全な	運営を図る。	
事業の内容	伊予市に住所を有する	を被保険者に対し(呆険料を通知し、徴収す	-გ.	
改善策の 具体的 取り組み (当初)	障害認定による保険証	E交付時にも、口座	□座振替勧奨を行うと 逐振替勧奨を行ない、年 で分割納付の相談に応	金天引開始までの保険	ウすくする。75歳到達や 3料の口座振替を推進
改善策の 具体的 取り組み					

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
	直接事業費	864	1,305	557	1,054
事業費	人件費	2,799	2,847	1,423	2,847
	合計	0	4,152	1,980	3,901
	人工数	0.35	0.35	0.18	0.35
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,799	2,847	1,423	2,847
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	864	1,304	0	1,054
	一般財源	2,799	2,848	1,980	2,847

	事業活	動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
催告書等送付	件	182	150	64	125
督促状発送	件	591	300	228	486

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
任由	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
平 及	1,447	1,447	1,447	1,447	1,447	7,235

		成果指標		
成果指標	後期高齢者医療保険料徴	収率		
指標設定の 考え方	保険料の収納状況を示す行する成果を測る。	数収率を指標とすることで、#	制度の健全な運営に必要な[医療給付の財源確保に対
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	100	100	0	0
実績	99.3	99.41	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
自己評価	事業の効果 3			
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	3 B	
()三二页[[日/		施策への貢献度	4	
	11	手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
	A distributed by a second	受益者負担の適正	4	
	今後は催告等の送付の を検討する。	Dタイミング(年金受給月など)や電話勧奨、市民税務課	との連携によ	る滞納処分
	で探削する。			
는때 요구 는지 는까				
課題認識				

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	3	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	4	В
(別為文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
		受益者負担の適正	4	
	滞納者に対する督促	,催告,滞納処分等の滞納整理事務を推進し,収納率の	の向上を図る。	必要があ

る。。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	